

現在の大崎町を築き上げてきた先人の足跡を後世に伝えるとともに、魅力あるまちづくりに資することを目的に、町史の編さんをおこないます。

昭和50年12月に刊行された大崎町史「明治百年」では、明治維新から昭和20年までの郷土史がまとめられています。今回の町史は、太平洋戦争末期から現代までの町の歩みを編さんします。

このコーナーでは、令和7年度発刊をめざし調査を進める中で、わかった情報などをご紹介していきます。

編さん事業を進めるため、4月14日に「大崎町史編纂調査部会」の調査員を11名委嘱しました。その後、協力いただける方を4月25日に3名、5月25日に3名を調査員として委嘱し、現在17名の調査員で、それぞれの分野の情報収集作業をおこなっています。

調査員の皆さんもお忙しい中で、時間を作って地域住民の方や関係機関への聴き取り調査や、図書館などでの資料調査に取り組んでいただいています。聴き取りをしなければ分からなかった情報も集まってきているようです。

そのような中、役場商工観光課の広報観光係からもありがたい資料提供がありました。昭和24年以降の広報紙と戦後から平成までの記録写真です。広報紙や記録写真は戦後の大崎町のあゆみを知る貴重な手掛かりになります。今後精査することによって、どのような情報が得られるのか楽しみです。



旧大崎町役場庁舎 \*\*昭和11年から昭和52年まで\*\*  
現在の駐車場の場所に建っており、2階建ての木造でした

**町の歩み、歴史を語る写真や資料などを収集しています。**

戦後(太平洋戦争)から昭和時代で大崎の歴史(風景・行事・祭りなど)がわかる  
写真や資料をお持ちの方はご連絡ください。